

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ア	国際交流・物流拠点の核となる空港の整備	
施策	② 離島空港の整備及び機能向上		
主な取組	新石垣空港の整備	実施計画 記載頁	153
対応する 主な課題	宮古・八重山地域では、外国人観光客が増加傾向にあるが、各空港においてCIQ機能が十分でないなど、国際線受け入れのための体制整備が課題となっている。		

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	今後、旅客数の増が見込める新石垣空港について、航空機の大型化に対応した滑走路の新設や、旅客数に対応するターミナルビルを整備する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	空港整備 ターミナルビル 建設	H25.3月 開港					県、国 ターミナル(株)
担当部課	土木建築部空港課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
新石垣空港 整備事業	3,106,530 (265,019)	3,095,919 (265,019)	・滑走路、場周道路および駐車場等を整備し、新空港を供用開始した。【内閣府計上】	再掲 3-(11)-ウ 295頁
活動指標名			計画値	実績値
空港本体、ターミナルビルの整備			-	1空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・平成25年3月の開港により、旅客数が増となった。 平成24年3月:154,470人 → 平成25年3月:194,239人 (+39,769人)			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
-	-	-	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・前年度で事業完了。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客者数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	・新石垣空港が開港したことで離島路線全体の旅客数は増加しており、また、LCCも就航することから、目標達成に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)離島空港の旅客数を伸ばすためには、空港地上業務体制の確保や島の魅力を積極的なPRが必要であり、関係機関と連携を図る必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)開港後、利用者や空港内事業者から空港施設を利用しやすくするよう改善要望があるため、利便性向上に向けて取り組む必要がある。

4 取組の改善案(Action)

1)航空路線の誘致活動や観光PR事業を所管する文化観光スポーツ部及び離島路線を所管する企画部と連携を図るため、観光・交通施策連絡会議を設置する。

2)空港施設の利便性向上を図るため、空港内事業者、地元石垣市、交通事業者およびビル会社等で構成する新石垣空港管理運用に関する連絡会議を設置する。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ア	国際交流・物流拠点の核となる空港の整備		
施策	② 離島空港の整備及び機能向上			
主な取組	離島拠点空港の国際線受入体制の整備	実施計画 記載頁	153	
対応する 主な課題	宮古・八重山地域では、外国人観光客が増加傾向にあるが、各空港においてCIQ機能が十分でないなど、国際線受け入れのための体制整備が課題となっている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	国際便運航の促進、空港利用者の利便性や快適性の向上を図るため、新石垣空港や宮古圏域の空港において、国際線旅客ターミナルビルやCIQ施設を整備する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	新石垣空港 ターミナル建設 CIQ施設整備						県、市町村 ターミナル(株)
宮古圏域における拠点空港のCIQ施設整備 (調査、設計、工事)							
担当部課	土木建築部空港課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
新石垣空港 整備事業	175,871	175,871	・石垣空港ターミナル(株)に補助金を交付し、国際線ターミナルビルとCIQ施設を整備した。【県単等】	再掲 3-(2)-ウ 171頁 3-(11)-ウ 295頁 4-(1)-ウ 328頁
活動指標名			計画値	実績値
国際線ターミナルビルとCIQ施設の整備			-	1空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・新石垣空港CIQ施設整備により、新たな国際線が2便就航した(2便とも石垣～仁川)。 平成25年2月迄:2社 → 平成25年3月～:4社			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空 港整備事業 費	8,000	・県が宮古圏域の空港における国際線旅客ターミナルビルとCIQ施設の基本設計を行う。【県単等】	-

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。
----------------------------

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
新石垣空港の年間旅客者数(国際線)	3.2万人 (22年)	- (24年)	5.6万人	-	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	・今年度は、新石垣空港の開港を機に、運休していた路線の運航が再開すると共に、定期化も見込まれていることから、目標に向けて順調に推移していくものと考えられる。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)宮古圏域の2空港の役割分担の決定に時間を要したため、CIQ施設の導入時期が遅れることが懸念される。
2)宮古島市は沖縄観光コンベンションビューローや市の観光協会と連携し、韓国をはじめ近隣諸国のインバウンドに力を入れて始めており、宮古圏域においても外国人観光客が増えることが予想される。
3)新石垣空港では、県や石垣市が積極的に行ってきた観光プロモーション活動が奏功したことで、想定以上の外国人観光客の利用となったため、観光客からはターミナル施設の狭隘さが指摘されており、その対応を検討する必要がある。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

4)宮古圏域のCIQ設計段階において国機関(税関、検閲など)、地元自治体、観光協会および航空事業者などの意見を取り入れ、適切なCIQ施設規模を決定する必要がある。
5)新石垣空港において、関係機関の意見集約を行い、今後の利用状況を見据えて、適切な規模を決定する必要がある。

## 4 取組の改善案(Action)

1)2)4)宮古空港のCIQ施設導入について、宮古圏域の2空港の役割分担が平成24年度で決着したことから、早急に事業に着手し、地元関係機関や航空事業者、国機関と連携を図り、円滑に設計業務を遂行する。
3)5)石垣空港ターミナルの増設については、県土木建築部、県文化観光スポーツ部、石垣市、ターミナル株式会社で構成する検討会議を設置し、適切な規模への増築に向けた検討、調査を行う。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ア	国際交流・物流拠点の核となる空港の整備		
施策	② 離島空港の整備及び機能向上			
主な取組	伊平屋空港の整備	実施計画 記載頁	153	
対応する 主な課題	宮古・八重山地域では、外国人観光客が増加傾向にあるが、各空港においてCIQ機能が十分でないなど、国際線受け入れのための体制整備が課題となっている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	伊是名・伊平屋地域における生活利便性の向上や産業の振興を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計		設置許可申請～空港整備			→	県、国
担当部課	土木建築部空港課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	49,436 (23,625)	32,898 (23,625)	・伊平屋空港建設が周囲の環境に与える影響を検討したが、就航機材の決定に時間を要しており、航空会社を含めた関係機関との協議が遅れている。【県単等】	再掲 2-(6)-ア 140項 3-(11)-ウ 295項
活動指標名			計画値	実績値
環境影響評価書の作成			-	1空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・環境影響評価条例に基づく評価書の手続きが完了し、着実に空港整備事業が進捗している。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	16,538 (16,538)	・航空会社の就航同意を得る。 ・環境影響評価条例にかかる手続きを進める。【県単等】	-

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

・やや遅れているものの、早期に協議会を開催し、事業進捗を図る。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客者数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、伊平屋空港の整備により3万2千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- 1)航空会社は、新規の航空路開設に慎重である。
- 2)一般空港予算が大幅に縮減されている。
- 3)環境影響評価書知事意見を受け、計画を見直す必要がある。
- 4)就航機材で施設の整備規模が決まるため、航空会社と協議し、整備規模を検討する必要がある。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- 5)知事意見を受け、施工規模の変更を行っており、変更案に対する合意形成を得る必要がある。

## 4 取組の改善案(Action)

- 1)3)4)5)就航条件について航空会社を含めた関係機関と協議を行うとともに、修学旅行の誘致を行うなど、伊平屋村、伊是名村による積極的な航空需要の喚起を促進する。
- 2)国に対する予算要求において、伊平屋空港の新規整備の必要性を訴えていく。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ア	国際交流・物流拠点の核となる空港の整備		
施策	② 離島空港の整備及び機能向上			
主な取組	粟国空港の整備	実施計画 記載頁	153	
対応する 主な課題	宮古・八重山地域では、外国人観光客が増加傾向にあるが、各空港においてCIQ機能が十分でないなど、国際線受け入れのための体制整備が課題となっている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	粟国地域における生活利便性の向上、産業の振興、持続可能な離島地域社会の実現を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計		設置許可申請～空港整備			→	県、国
担当部課	土木建築部空港課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	21,525	6,457	滑走路整備に必要な舗装強度などの調査を行った。【県単等】	再掲 2-(6)-ア 140項 3-(11)-ウ 295項
活動指標名			計画値	実績値
既設舗装の調査			-	4箇所
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・関係機関等と綿密に調整を行うことで、地元自治体が求めている「空港施設」や「運航頻度」などの内容を得ることができ、平成26年度事業着手に向けて前進した。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	15,068 (15,068)	・土木および照明施設の設計を行う。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、粟国空港の整備により1万5千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)地元粟国村は、現在就航している機材(9人乗り)の大型化を要望している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)国等の関係機関とも綿密に調整を図り、その結果を基本設計に反映させた上で、空港整備の方向性を決定する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

1)2)空港整備の方向性を決定するため、「粟国空港整備促進協議会」を開催し、地元の合意形成を図る。